

<第一部>

災害想定訓練実施要綱

訓練想定

(1) 災害想定

令和元年8月25日午前4時頃から突如降りだした局地的なゲリラ豪雨により北上川、黒沢川の水位が急激に上昇。午前5時30分、大雨洪水警報が発令。街地区の城内、永岡地区の下永沢で洪水と土砂崩れが発生する可能性が非常に高い状況となった。

また、同時刻に岩手県内陸部を震源とするM8.5の直下型地震が発生し、町内の震度は6。建物の倒壊、道路の陥没、電気・水道等のライフラインの寸断された地区が多数発生。街地区で地震による建物火災発生した。

(2) 災害発生等

①局地的なゲリラ豪雨の影響により、北上川、黒沢川の水位が急激に上昇し、街地区の城内、永岡地区の下永沢で洪水と土砂崩れが発生する可能性が非常に高い状況。

また、同時刻に岩手県内陸部を震源とするM8.5の直下型地震が発生し、町内の震度は6。建物の倒壊や道路の陥没、電気・水道等のライフラインが寸断された地区が多数発生。

このため、避難所を3箇所開設し避難勧告を発令。

※街地区センター、街地区体育館：街地区自治会

※永岡地区センター：永岡地区自治会

②午前5時57分、街地区の住宅での火災を発見し、119番通報。

金ヶ崎1が出動するとともに、午前6時、町消防団長の指示により第1分団が出動。

(3) 災害対策本部設置

5時30分役場庁舎内に金ヶ崎町災害対策本部を設置。各部員は「災害対策本部設置・運営訓練細部計画」により活動開始。

①金ヶ崎町災害対策本部を役場3階庁議室に設置。第1回会議は午前5時45分。

②午前6時20分避難所開設。場所は街地区センター、街地区体育館、永岡地区センター。

③午前6時20分避難勧告発令。

(4) 火災防御

①午前6時00分、各部は「火災想定訓練細部計画」により出動開始。

②現場指揮本部は、町民駐車場

③鎮火の決定：午前6時30分、各消防隊等の消火活動が功を奏し火災は鎮火、金ヶ崎1の報告に基づき現場指揮者は鎮火を確認。

④用具の撤収：現場の指揮者は直ちに用具を撤収し所定の場所に集結する様指示。